

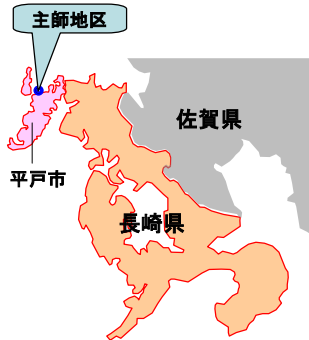
祖父、父の背中を見て漁師に！

あやか こうき

中野漁業協同組合 綾香幸城さん 21歳

漁業暦 3年

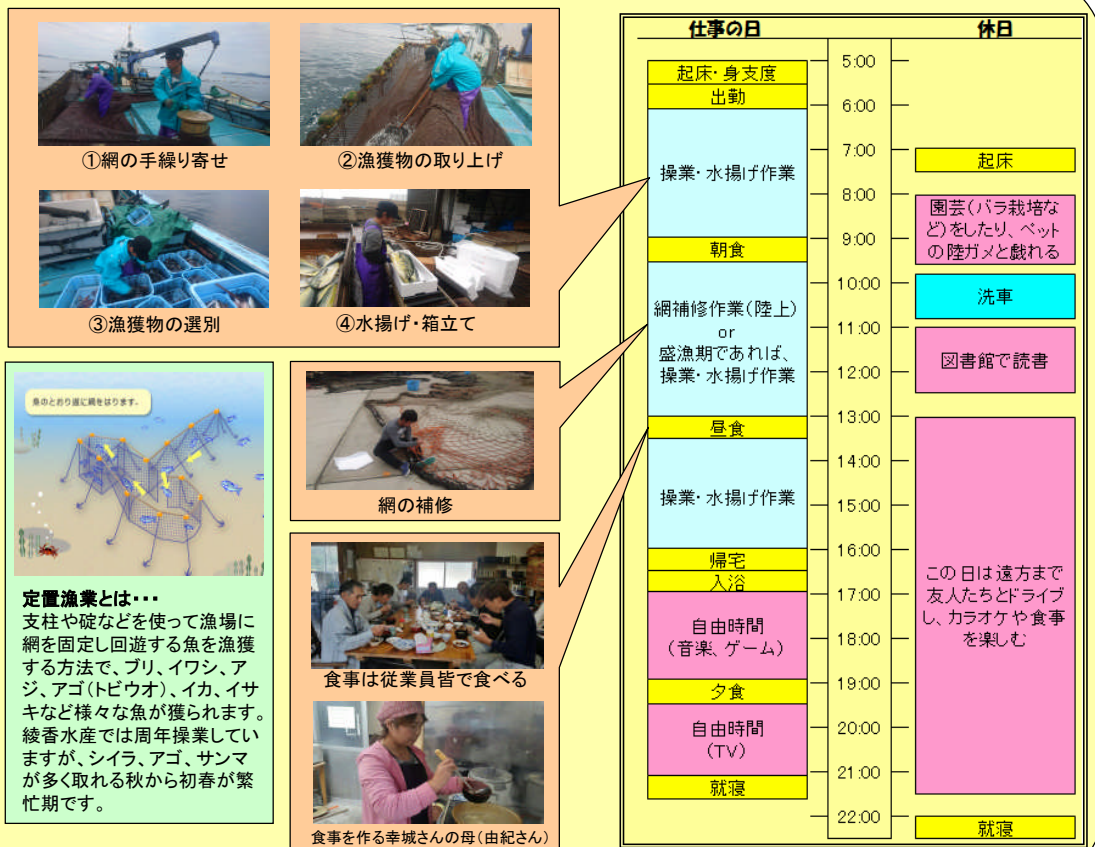
綾香さんは、定置漁業の従業員として就業されています。



綾香幸城さんは、長崎県平戸市主師地区で三代続く漁家（定置漁業）の出身です。綾香さんは、長崎市内の高校への進学を機に一度親元から離れ、水産学（機関科）を修学しました。高校卒業後に帰郷し、現在は祖父が代表を務める「綾香水産」にて定置漁業に従事しています。就業して三年目となりますが、九名の従事者の中では最年少であり、操業に必要な一連の作業を一日でも早くマスターしようと奮闘中です。最近では、所属漁協の青年部活動や、趣味である陸ガメ飼育、園芸も楽しんでいます。ながら充実した毎日を送られています。



綾香さんの操業スケジュール



※休日は月に4～5日

漁業以外の活動の様子

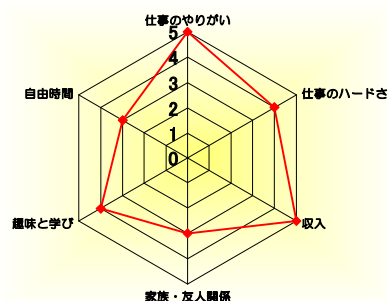


漁協青年部活動
（子供を対象としたお魚料理教室）



趣味の陸ガメ飼育

綾香さんの本音チャート



定置漁業への就業を考えている方へ

始業は早い時間になりますが、昼夜逆転ではないので、日中に仕事をされている方でも入りやすいと思います。雇われの従業員であれば安定的に給与を得られますし、太陽の下で体を動かしたい方にはオススメです。ただし、夜遅くまで晩酌を楽しみたいという方にはやや厳しいかも。私はお酒が苦手なので、その点の苦労はありませんが（笑）

家族（父）の声

「卒業したら平戸に帰ってくる！」と言って市外の高校に進学した息子は、言葉どおり平戸に帰ってきました。高校で学んだ機関の知識を、漁船エンジンのメンテなどに役立ててくれています。頼もしく思う反面、一人前になるにはまだまだ覚えるべきことが多いので、先輩から知識や技術を真欲に吸収してほしいと思います。



父の良浩さん（右）